

環境学習講座「環境都市江戸に学ぶ」

5月17日(土)品川歴史館において環境学習講座「環境都市江戸に学ぶ」(講師:同館 富川武史学芸員)が開催されました。

東海道品川宿をとりまく環境について、江戸と品川、水とのかかわりを中心に話が進みました。

品川宿の上水は、元は多摩川の水で、8里の道のりを経て玉川上水から引いていました。台地が多かった品川では水の確保に苦勞をしたので、



上水施設を整えていたのですね。一方、町屋から集められた下水は東海道の下を通り、海に流れ込むようになっていたようです。しかし当時の下水は現在のように工場排水はもちろん、洗剤や石鹼などもなかったことから、現在よりずっときれいでした。また畑の水として再利用もしていたようです。

わたしたちの中にも、過去の生活においてこのような下水の記憶を持っている人は多いと思います。環境をきれいに保つことを心がけたいものです。

品川歴史館の常設展示場では、東海道第一番目の宿場として栄えた品川宿を中心に品川の歴史を学ぶことができるようになってきました。一度訪れてみてはいかがでしょうか。品川歴史館(品川区大井6-11-1)最寄り駅:JR大森駅徒歩10分、JR大井町駅徒歩15分、バスの便あり



「もったいない・・・」の気持ちを大切に

リサイクルショップ

「リボン」をご存知ですか?

「リボン」はNPO法人「エコタウンしながわ」が品川区の協力を得て運営しているリサイクルショップで、旗の台店と大井町店があります。(旗の台店↓)



「ものを大切に使う」をテーマに

洋服、バッグ、雑貨や家具など、ご家庭にある品物の買い取りや委託販売をしています。

「捨てるのはもったいない」「ご縁があれば他の方に使っていただきたい」そんな品物がありましたら「リボン」をご利用ください。

お買い得品や掘り出し物をいろいろと揃えています。

「リボン」では、みなさまのご来店をお待ちしています。詳細はそれぞれの店にお問い合わせください。

*旗の台店 03-5498-7803
*大井町店↓ 03-5742-6933

品川区環境情報活動センター 今後のイベント予定

①「エコな買い物」環境にやさしい買い物をしましょう

私たちはゴミを減らす、節水・省エネなどでエコな生活を心がけています。買い物をする際にもエコを考えた消費者「グリーンコンシューマー」になりませんか。また「エコな商品」とはどんな商品でしょう。日時/6月22日(日)14時~16時

②「シロクマと温暖化」温暖化がシロクマの生存に影響を及ぼしている

何気ない私たちの日々の生活が、可愛いシロクマ君にどんな影響を及ぼしているのでしょうか?人とシロクマの共存について分かりやすくお話しさせていただきます。日時/6月29日(日)14時~16時

③「太陽光発電」未来のエネルギー社会に向けて

地球に降り注ぐ無限の太陽光エネルギーを使ってエネルギー問題を解決することができるのでしょうか。日時/7月15日(火)14時~16時

夏休み子ども環境講座

①気象予報士から学ぼう・ストップ地球温暖化

地球はどうして暖まるのか、それによってどんな影響があるのかなど、気象予報士の先生に分かりやすくお話しさせていただきます。

②エコクッキング

料理を通して、楽しみながら環境問題を考えましょう。

講座の名称はいずれも仮称です。応募方法等については「広報しながわ」、「品川区環境情報活動センター」のホームページにて後日掲載します。

しながわECOだより2008年度Vol.1

発行:品川区環境清掃事業部

編集:特定非営利活動法人エコタウンしながわ

発行日:平成20年5月30日

住所:〒140-8715

品川区広町2-1-36
品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX:03-5742-6533

E-mail:center@shinagawa-eco.jp

HP:ht tp://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう



品川区環境情報活動センターだより

2008年度 Vol.1

自然・環境と花・蝶

わたしたちは元気で、明るく楽しい生活をするとともに、自然を大切にしよう、環境を守ろうと心がけています。春になれば陽射しは強くなり、花が咲き蝶が飛び交いますが、これは当たり前のことでしょうか。自然があり、環境が守られているからこそ花は美しきを見せ、蝶は花に止まるのです。花も蝶もそんな自然と密接に関係し、わたしたちの生活に潤いを与えてくれています。

林試の森公園でおいしい空気を吸おう

品川区と目黒区の境に林試の森公園があります。4月27日(日)「林試の森コンサート」が開催され、青空の下コーラスやオカリナ、太鼓の演奏、ホルンの6重奏などがありました。林試の森公園は、以前は林業試験場であったところで、試験場が移転した後、平成元年に都立の公園として整備されました。



森の中は道も整備され、家族連れが遊びや散歩を楽しんでおり、空気がおいしいと感じられる都心の一空間です。この森の樹木は100年以上の歴史があり、幹の回りが3mを超える樹木もたくさんあります。また、わたしたちの活動や呼吸から発生する二酸化炭素(CO2)をしっかりと吸収してくれているのではないのでしょうか。



環境記者活躍中

環境記者の内田雅弘さんは区内の自然を追いかけ、公園はもとより道端に咲く花々にも注目して、さまざまな写真を送ってくださっています。

区立池田山公園は、高低差はあるものの、よく整備された回遊式の庭園です。住宅地の真ん中にあるこれらの木々は、林試の森公園同様、二酸化炭素(CO2)の吸収に大いに役立ってくれているのではないのでしょうか。



立夏を前にした池田山公園は新緑に包まれていました。池の付近から見上げる庭園の斜面に、所々ツツジが見られました(5月上旬)。5月中下旬にはサツキが可愛らしさを見せてくれました。なお、区の花は「サツキ」です。

区内のバラの名所の一つであるしながわ花海道(鮫洲橋袂のミニバラ園)では、5月のバラが見頃になり、赤、黄、白、ピンク他、大小のバラが咲き誇っていました。こちらでは日本バラ協会指導員の方が、いろいろなバラを育てています。



蝶の道プロジェクト

「蝶の道プロジェクト」は、蝶の行動範囲などを考えて「蝶のレストラン（食草園）」をつくり、蝶の飛び交うエリア「蝶の道」を広げていくプロジェクトです。

蝶の道プロジェクトでは、学校によっては特別授業で生き物の生態系や自然環境についての授業を行ったりもします。このあとみんなで食草園を作ります。



ルリタテハチョウは、去年までは区内西側の方でしかみないチョウウでした。プロジェクトに参加している人たちと食草であるユリ科の植物を植えたせいか、今年東大井でも見ることができるようになりました。

環境リサイクル講座

「さき布から“ぞうり”を作ろう」好評の内に終了

平成20年4月29日と5月6日の2日のわたり、環境情報活動センターにおいて「環境リサイクル講座 ～さき布から“ぞうり”を作ろう～」が開催されました。ゴールデンウィーク中の2日出席にも関わらず、25名の定員になんと150名を超える応募をいただく人気講座でした。当日は布ぞうりサークルから3名の指導者を迎え、受講者のみなさんは熱心に布ぞうり作りに取り組みました。これまでにこの講座に参加した人たちが中心となり、サークルとして活動を行っています。



本講座は家庭にある古布を使ってオリジナルのぞうりを作る講座で、ぞうり作りを通してリサイクルに関心を持っていただくことが目的です。

1日目はぞうりの本体作りです。初めは戸惑いから心配顔も見られましたが、作業が進む内にみなさんの手の動きは滑らかになって行きました。1テーブル6人のメンバーは以前からの友達のように和気あいあい、部屋中明るい雰囲気でした。



2日目は鼻緒作りから始まりました。布を芯に巻きつけて行きますが、ここでしばらく手が止まります。しかし、お互いの協力できずに完成に向かって前進です。



今回は2日間の講座、計5時間をかけて一足が出来上がりました。みなさんの満ち足りた笑顔が印象に残っています。楽しかった、以前から布ぞうりを作ってみたかったが夢が叶ってよかった、なかなか難しかった等、様々な声をお聞きしました。人気の講座ですので、今後の開催も検討したいと思っています。



ご存知ですか？

しながわ花海道プロジェクト

地域の皆さんの力の結集が、きれいな花畑を創り出した「しながわ花海道プロジェクト」の事例をご紹介します。

近年、環境問題が地球規模のテーマとなっており、私たちの生活にも関わりが出てきています。「しながわ花海道プロジェクト」の活動はお花畑を作ることによって土と触れ合い、花の成長と周りの生き物や自然環境を守ることを学んでいます。勝島運河周辺ではこの活動始める前は雑草が生い茂り、ごみが散乱する一帯でした。

2002年7月、区の許可の下で地域の有志がコスモスの種をまき、花畑作りを開始しました。10月にはコスモスが見事に咲き、



自信を持った有志は「しながわ花海道プロジェクト」を正式に立ち上げました。12月には一般の方への呼びかけを行い、約500の方が集まり、第1回目の種まきイベントを行いました。

最初は花の咲き具合も必ずしも十分ではなかったものの、会員の努力もあり、2回、3回と回を重ねるごとにきれいな花が咲くようになりました。2007年に勝島運河東岸に桜の苗木56本を、地域の小中学校の子供たちと住民の方々と植樹しました。

花の見頃の時期にはイベントを行い、「しながわ花海道」の周知にも努めており、6年目を迎えた今年には区のお花見の新名所として、また住民が安心して楽しめる場所になってきました。写真①が、今年の3月にはこんなにきれいな菜の花の咲く岸になりました。



この活動がもとで勝島・浜川・鮫洲運河ルネサンス協議会、勝島運河倶楽部、蝶の道プロジェクト、バラの花育て方教室などの新しい活動へと広がり、今後の活動への期待と夢が更に大きくなってきました。多くの方の心と力により、蝶が舞い、水鳥が飛び交うきれいな場所になりました。



ジャコウアゲハ



水鳥と遊ぶ



しながわ花海道へ是非一度足をお運び下さい。最寄り駅：京浜急行 立会川駅 品川区勝島運河高潮護岸の土手 周囲約2km

書評コーナー



『木はいいなあ』
作：ユードリイ
絵：シーモント
訳：西園寺祥子
偕成社
(本体1,000円+税)

都市化と共に、自然と親しむ子供たちの生活は失われつつあります。ユードリイは『木はいいなあ』で、自身の幼い日々を経験した木とのすばらしい生活を、子供たちに味わってもらえればとの願いを込めています。子供たちに、自然の素晴らしさをあらためて芽生えさせてくれる絵本です。



『手にとるように環境問題がわかる本』
三菱UFJリサーチ&コンサルティング 環境・エネルギー部 著
かんき出版
(本体1,400円+税)

「環境問題」、「地球温暖化」といった言葉を耳にすることが多くなりました。そう言えばごみの分別方法がより明確になったり、新たに「猛暑日」が設けられたり、南方の島が沈没するという話から、ある程度理解することができます。本書では地球温暖化とはどんな問題で、それがどのようにして引き起こされ、異常気象とどう関係しているのか、またその解決に向けてどういった取り組みがなされているのかなど、環境問題全体を分かりやすく解説してくれています。環境対策は国と自治体、企業、家庭、それぞれ大切な役割を担っていますが、環境問題を考えた私たちの暮らしのあり方を教えてくれています。